



祐介の目

No.106

大田祐介 (福山市議会議員)

市議会副議長に就任

5月11日の臨時議会にて38名の議員による選挙により第68代副議長に選出された。小川議長の進める議会改革・市政発展の補佐役として福山市議会・議会基本条例に則り、公正・公平でより良い議会運営に努めたい。

早速12日にはコロナ対策として過去最大の515億円の補正予算を審議する予算特別委員会の委員長として議事を進行し、一律10万円の定額給付金の支給等を議決した。続いて6月議会に向けて連日のように各常任委員会の議案の打ち合わせや、各会派の代表者会議、議会運営委員会等が開催され、6月1日の6月議会の開会を迎えた。

6月議会は「コロナ対策議会」の様相を呈し、多くの議員が一般質問においてコロナ対策について質疑を行い、私も議長席に座り、市長をはじめ教育長や保健所長らとの論戦を採配させてもらった。15

日には第2次補正予算を審議する予算特別委員会が開催され、感染拡大第2波への備えの他、中小企業者への事業継続支援策、市民消費の喚起として市独自のプレミアムクーポン券の発行などが議論された。17日の最終日に補正予算も議決されて閉会となり、副議長としての役割を大過なく果たせたと安堵している。

その他の副議長の役職として「市議会だより」編集委員長がある。従来の各定例会の報告にとどまっていた現状を変えたい。具体的には表紙の変更、文章を読みやすくし、市民との双方向きを持たせるため、市議会だよりFacebookページの作成も検討している。また、予算特別委員会のインターネット中継や、Zoomオンライン会議も検討している。さて、副議長になったからと言って慢心してはならない。ソクラテスは「政治家やその志望者の中には、政治というものには非常に習得が困難であるにもかかわらず、訓練もせず、勉強もせずに突然、勝手に政治の達人になれると考えている者がいる。まことに不思議である」と述べている。この言葉を胸に日々努力と研鑽を重ねる所存です。